

平成27年度補正予算 漁船リース事業

# 第83剛雄丸 進水式



6月5日、米子漁港で第83剛雄丸の進水式が行われました。当日は天候にも恵まれ、ご家族や米子漁港近隣から大勢の関係者が駆けつけました。

大漁旗を何枚もなびかせた第83剛雄丸が港に姿を現すと、進水を祝う祝福の声や「立派な船だの！」など歓声が上がっていました。船が港に着くと、剛太さんのお子さんが作った世界に一つだけの大漁旗が贈られ、早速船に飾られました。

国が推し進める目玉事業「浜の担い手漁船リース事業」は、次代を牽引する『浜の中核的漁業者』が代船を導入することで、漁労作業の効率化・経費の削減に努め、5年後の漁業所得を10%以上向上させることを条件として、国が取得費用の半額を支援する事業です。あとの半額は、漁業者がリース料として返済し、完済後に漁業者の所有になるという画期的な事業です。

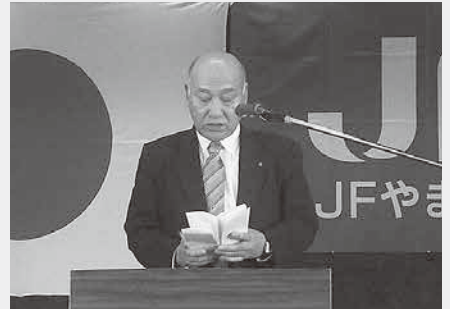
鈴木剛太さんは「海は依然厳しい状況が続いていますが、家族のためにも頑張ります。」と述べ、「家族のために大漁するぞ」という意気込みが感じられました。

これからの安全操業、大漁満足を祈念いたします。



# 第52回 通常総代会開催

第52回通常総代会は、6月27日(火)10時より本所講堂において、総代99名(内7名が委任出席)の出席と多数の来賓の方々、各関係機関代表者のご臨席のもとに開催されました。



冒頭、五十嵐組合長が挨拶を行い、続いて来賓として吉村美栄子山形県知事(小野真哉 山形県庄内総合支庁長代読)、丸山至酒田市長、時田博機遊佐町長、山口祐治農林中央金庫山形支店長(中川章副支店長代読)がそれぞれ祝辞を述べられました。

次に、飛鳥地区の鈴木徳正氏が議長に選出され、第1号議案の平成28年度事業報告及び剰余金処分案の承認に関する件、第2号議案の平成29年度事業計画の設定に関する件、第3号議案の定款の一部変更に関する件から第10号議案の役員選任に関する件まで、10議案が審議され、いずれも可決承認されました。

## 平成28年度の事業概況

本県漁業の状況については、11月中旬以降の本県沖合におけるスルメイカの漁場形成と価格の高騰も相まって、総水揚額が17年ぶりの36億円を超えることとなりましたが、本県漁業者の基幹漁業たる底曳網漁業をはじめとしたほとんどの漁業が不振となり、手放しでは喜べない状況ではなかったかと推察します。こうした中で、昨年9月には天皇・皇后両陛下をお迎えして「第36回全国豊かな海づくり大会」が開催され、本県の活力ある水産業の姿が全国に発信されるところにも成功裏に終了することができたことは、組合員の皆様をはじめ関係各位の協力の賜物と感謝します。

さて当組合は、浜の活力再生プラン・広域浜プランを策定し、その実践として山形市内における産直アンテナショップを拠点とした庄内浜産水産物の消費拡大や持続可能な漁業の確立のための漁船リース事業の導入等に積極的に取り組みました。平成28年度の当組合の収支については、販売事業・購買事業が好調に推移したことにより、事業利益段階で63百万円、税引前利益で76百万円を計上、平成8年から20年間続いた繰越欠損金を計画の一年前倒しで解消することができました。これもひとえに組合員の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

### ① 信用事業

貯金業務については、本年度も「全国統一キャンペーン」等の運動を展開しながら貯金残高の維持・確保を図ってまいりましたが、個人貯金の流出に歯止めがかかりませんでした。

一方で、関係中央団体からの定期貯金の取組みにより、最終的に年度末残高は51億75百万円、平均残高では50億89百万円となり計画対比101・6%という結果となりました。貸出業務については、年度末残高は6億52百万円となり計画対比90・

0%という結果となりました。なお、貯貸率については12・6%となり前年対比15%下回りました。その結果、信用事業総利益は35百万円となり、前年度に対し103・9%の実績率、計画に対しては94・7%の達成率となりました。

### ② 共済事業

組合員の高齢化等により新規・満期更新が厳しく、主要商品である「チヨコー」の保有伸長率は97・1%と低迷しました。また、「くらし」の

伸長率は98・8%となっております。依然として総体的に保有率が減少していること、さらには長期共済について計画達成が年度末に偏ったこと等が影響し、共済事業総利益は12百万円となり、前年度に対し98・9%の実績率、計画に対しては83・8%の達成率となりました。

### ③ 購買事業

当組合の主要取扱品目であるA重油の供給数量は、企業向け及び酒田北港工事船向けの供給が大幅に減少



●メインバンクはJFマリンバンクを！

し、前年対比87・2%の実績にとどまりました。

白灯油については、本年度も販路の拡大及び顧客の定着化を図るべく推進活動を展開しましたが、前年度に引き続き暖冬の影響により一般家庭向けの供給数量は伸び悩んだものの、企業向けの取扱数量が増加したことから、前年対比120・1%の実績となりました。

この結果、石油類全体の供給数量は前年対比98・0%の実績となりました。

魚箱類については、取扱数量では、11月までは夏いか漁の不振と秋さけ漁が前年対比6割程度の水揚量にとどまったこと等により厳しい状況となっていました。12月以降の生いか漁の水揚増により回復し、前年対比96・8%の実績となりました。

その結果、購買事業総利益は1億87百万円となり、前年度に対し102・1%の実績率、計画に対しては、103・9%の達成率となりました。

#### ④ 販売事業

本年度の総水揚数量は6千211トン、総水揚金額は36億24百万円となり、数量では前年対比315トン減少しましたが、金額では前年対比6億20百万円増、計画対比10億84百万円増の実績となりました。

水揚金額大幅増の要因は、主要魚種であるスルメイカの11月以降の本県沖合での漁場形成と県外生イカ船の入港増、さらには全国的な不漁による価格の高騰により大幅増となっ

たことによるものです。

一方、底曳網や定置網漁業等ほとんどの沿岸漁業が不振となり、本県漁業者にとっては厳しい実績となりました。その他魚価向上に関する取り組みについては、春と秋に「庄内浜旬の魚キャンペーン」を本県内陸部の量販店で実施し、庄内浜産水産物の認知度向上と消費拡大に努めました。また、庄内浜魚応援店等に対しIT活用によるタイムリーな水揚情報・産地市場情報の提供に努めました。

以上により、販売事業総利益は1億60百万円となり、前年度に対し120・1%の実績率、計画に対しては121・4%の達成率となりました。

#### ⑤ 製氷冷凍冷蔵事業

地元沿岸漁業の底曳網漁業や定置網漁業等への供給は、漁場環境の悪化により水揚不振となり伸び悩みましたが、冬期間の小型いか釣漁業の入港により供給数量で前年対比99・4%の4万8千本、供給高では前年対比99・2%の85百万円となりました。

最終的に製氷冷凍事業総利益は33百万円となり、前年度に対し93・8%の実績率、計画に対し84・7%の達成率となりました。

全国的なスルメイカの不振を背景に冷凍イカ原料価格が高騰したことに

#### ⑥ 加工事業

でイカ加工製品の売上が落ち込み、加工品販売高は前年対比3百万円減の59百万円となりました。一方、加工製造業向け原料販売については、価格高でカバーする形となり冷凍品供給高は前年対比5百万円増の73百万円となりました。「県漁協直営産直 庄内海丸」の売上を加えた加工事業収益は、前年対比116・7%の1億73百万円となりました。

加工事業直接費については、冷凍イカの原料高のため加工原材料費が大きく増加したことにより前年対比120・1%の1億67百万円となりました。

その結果、産直事業を含めた加工事業総利益は6百万円の実績となり、前年度に對しては66・6%の実績率、計画に対し47・3%の達成率にとどまりました。

トリアル事業での「県漁協直営産直 庄内海丸」については山形市民から好評を得ており、売上計画18百万円に対し187%となる34百万円の実績となりました。

#### ⑦ 指導事業

県・沿岸市町の協力を得て、各種種苗中間育成及び稚魚・稚貝の放流を実施し、資源の培養と繁殖保護に努めました。また、漁業者の協力を得て、漁具規制の遵守、保護区域、休漁日の設定等資源管理計画の推進に継続的に取り組み、資源管理計画の自主的管理措置の遵守徹底に努めました。

「浜の活力再生広域プラン」を新



たに策定し、競争力強化型機器等導入事業を活用し、漁業経営の安定と水産物の安定供給を目指す取り組みを行いました。また、T P P対策関連予算の目玉である「浜の担い手漁船リース緊急事業」を積極的に推進し、経営改善に意欲的に取り組む中核的漁業者を対象に、新船建造・代船購入・機関換装を行うことにより、浜の漁業経営構造の改革に取り組んでおります。

新規漁業者育成事業関係では、国による長期研修で5名が独立型と雇用型研修で受け入れられ、その後4名が就業し1名は研修を継続中です。また、就業準備研修事業においては、国・県の事業により1名の研修生を受け入れ研修を継続中です。

● 公共料金の口座振替は漁協で！



# 平成28年度 水揚表彰

## 平成28年度 山形県漁協水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等	
船凍県内中型船	50t以上	第38正徳丸	佐藤長悦郎 豊浦支所	
船凍県外中型船	50t以上	第85若潮丸	石垣漁業(株) 根室漁協	
		第58宝生丸	八田漁業(株) 小樽市漁協	
		第35若竹丸	はこや水産(株) 函館市漁協	
底曳網ほか	15~20t	第28廣徳丸	池田亀五郎 さかた総合市場	
		第58海瑞丸	本間 昭志 豊浦支所	
	10~15t	羽前丸	五十嵐容子 念珠関総括支所	
		萬龍丸	飛塚 美和 念珠関総括支所	
	5~10t	第2漁吉丸	阿部 清浩 さかた総合市場	
		第31要福丸	澤口 勉 吹浦支所	
		第2千祥丸	佐藤 栄一 由良総括支所	
	5t未満	福傳丸	阿部 昌樹 さかた総合市場	
	はえ縄・一本釣刺網ほか	1~3t	海成丸	本間 金弥 念珠関総括支所
			第8長寿丸	鈴木 重作 豊浦支所
			龍鵬丸	剣持 浩 念珠関総括支所
			第5多喜丸	渡部 伸二 さかた総合市場
千修丸			本間 和憲 温海出張所	
定置網		第18仁豊丸	(有)仁三郎 由良総括支所	
採介藻ほか	1t未満	幸進丸	榊原 英樹 由良総括支所	
		白山丸	榊原 昭夫 由良総括支所	
鮮いか県内船	10~20t	第18陸丸	池田 敏行 さかた総合市場	
鮮いか県外船	30t未満	長輝丸	野呂 晶也 えさん漁協	
		第58喜久丸	櫻庭 斉 福島吉岡漁協	
		輝丸	野呂 秀樹 えさん漁協	

## 平成28年度 水揚優秀船漁撈長表彰


表彰基準	表彰者名	船名
県内船	佐藤長悦郎	第38正徳丸
	齋藤 春雄	第81金剛丸
	佐藤 幸二	第81白山丸
県外船	本間 健	第85若潮丸
	齋藤 茂	第58宝生丸
	竹内 辰己	第35若竹丸

## 平成28年度 酒田市水揚優秀船表彰

区分	漁業種類	船名	船主名	所属支所等
県内	船凍いか釣	30t以上	第38正徳丸	佐藤 長悦郎 豊浦支所
		5t以上	第2漁吉丸	阿部 清浩 さかた総合市場
	いか釣	5~30t	第18陸丸	池田 敏行 さかた総合市場
		5t未満	第21大幸丸	讃岐 隆 さかた総合市場
	地先	3~5t	豊漁丸	讃岐 均 さかた総合市場
			宝洋丸	進藤 十二 さかた総合市場
		3t未満	金毘羅丸	讃岐 利行 飛鳥支所
			第5多喜丸	渡部 伸二 さかた総合市場
	磯見		第3七宝丸	池田 富生 飛鳥支所
			寿和丸	渡部 和夫 飛鳥支所

## 平成28年度 鶴岡市水揚優秀船表彰

漁業種類	船名	船主名	所属支所等
沖合	50t以上	第38正徳丸	佐藤長悦郎 豊浦支所
底曳網	10t以上	第58海瑞丸	本間 昭志 豊浦支所
		羽前丸	五十嵐容子 念珠関総括支所
		萬龍丸	飛塚 美和 念珠関総括支所
	5~10t	第2千祥丸	佐藤 栄一 由良総括支所
		清徳丸	佐藤 清紀 念珠関総括支所
5t未満	弥恵丸	佐藤 正美 温海出張所	
沿岸	3t未満	海成丸	本間 金弥 念珠関総括支所
		第8長寿丸	鈴木 重作 豊浦支所
		龍鵬丸	剣持 浩 念珠関総括支所
定置網		第18仁豊丸	(有)仁三郎 由良総括支所
磯見	1t未満	幸進丸	榊原 英樹 由良総括支所
		白山丸	榊原 昭夫 由良総括支所
いか市内船	10~20t	第21清栄丸	大場清一郎 由良総括支所



### おいしい山形旬の魚キャンペーン

「おいしい山形旬の魚キャンペーン」では、庄内浜産水産物のPRと流通の拡大を目的とし、市場関係者及び庄内浜産水産物を取り扱う応援店の方を対象に実施されました。

5月12日にオープニングイベントが山形公設卸売市場で開かれ、約1か月間、県内内陸部の量販店で庄内浜産水産物の認知度向上や消費拡大などを目的とし、対面販売にて調理方法の紹介やマダイの刺身が試食として提供されました。「やまがた庄内浜の魚応援店」では、キャンペーン期間中は庄内浜産の水産物を使用した料理が提供されています。

また、山形市にある生協3店舗で行った対面販売では、開店からお客様が鮮魚コーナーに来て庄内浜の魚を見たいかれ、中でもマダイの試食が大変好評で、刺身用でお買い上げになられる方が多くいました。

● 年金のお受取りは漁協で！



# 新組合長就任の挨拶

代表理事組合長 **本間 昭志**

このたび、役員選任後の理事会のご推挙により、当組合の第十一代の代表理事組合長に選任されました本間でございます。

ご案内のとおり、昨今の漁業を取り巻く環境は一層厳しさを増している状況にあり、このような苦難の時に、私のような浅学非才な者が組合長に選任されましたことは誠に身の引き締まる思いであり、その責任の重大さを痛感しているところです。

さらには、現在まで数々の輝かしい業績を残された五十嵐安哉組合長の後任ということであり、若輩者ではありますが、これまでの実績を汚さぬよう全力を挙げて職務に取り組んでまいりたいと存じます。

また、今般、非常勤体制ということになります。専務理事・参事制の設置による経営管理体制の強化により、組合運営に支障を来たす

ことのないよう努めて参りたいと思っておりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

まずは、総代会でご承認いただきました平成二十九年度の事業計画に基づき、その基本方針を踏まえ、基幹事業である販売事業を軸に、計画目標達成に役職員一丸となつて取り組んで参る所存であります。

また、次年度からスタートする第六次中期経営計画についても、より実効性のある計画を策定することとし、漁協の組織・経営基盤の強化に努めたいと考えております。最後になりましたが、新しい体制を軸に、組合員の皆様から信頼される漁協づくりを目指し、全力を尽くして参りたいと存じますので、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任にあ

たつてのご挨拶とさせていただきます。

## 新役員

代表理事組合長

本間 昭志 新任

専務理事

田村 勇次 前常務理事

理事

伊原 光臣 再任

理事

斎藤 厚 再任

理事

池田 亀五郎 再任

理事

和田 均 新任

理事

佐藤 清八郎 再任

理事

飯塚 厚司 新任

代表監事

富樫 紘一 再任

監事

池田 薫 再任

監事

本間 元幸 再任

## 退任役員

五十嵐 安哉 前代表理事組合長

佐藤 峯男 前理事

●メインバンクはJFマリンバンクを！

# 日本漁船保険組合 山形県支所

漁船保険組織は全国の漁船保険組合と漁船保険中央会を統合一元化し、平成29年4月1日に東京に本所、全国に49の支所を持つ、日本漁船保険組合を設立いたしました。

去る平成29年6月19日、東京のホテルグランドパレスにおいて日本漁船保険組合となって初めての総代会が開催され、旧漁船保険組合と漁船保険中央会の平成28年度事業実績および新組合の平成29年度事業計画・予算案などが全会一致で可決承認されました。

日本漁船保険組合の新しい体制と、山形県支所の平成28年度の事業概要を以下の通りご報告いたします。

山形県支所は今後もより一層の漁船保険事業の安定と発展、保険サービスの向上を目指して支所の運営をしてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○ <b>総代</b> (山形県選出)	伊原 光臣	相談役	菅原 公章	相談役	浅田 賢一	顧問	山内 静夫 (元中央会会長)	顧問	岩崎 良平 (弁護士)	顧問	大島 理森 (衆議院議員)	監事	松田 稔	監事	長岡 英典	監事	菊池 勝貴	代表監事	千葉 光悦	理事	山田 邦雄	理事	竹部 壽伯	理事	梅崎 義己	理事	竹田 宏夫	理事	吉川 栄人	理事	嶋田 仁彦	理事	平野 清音	理事	秋田 英男	理事	畑中 哲男	理事	福島 勝男	理事	阿部 滋	理事	濱野 由信	常務理事	佐藤 直久	常務理事	本田 公明	専務理事	澤藤 博樹	副会長理事	草野 正	副会長理事	中林 賢志	副会長理事	白井 哲夫	会長理事	三宅 哲夫	○ <b>日本漁船保険組合役員</b>
------------------------	-------	-----	-------	-----	-------	----	-------------------	----	----------------	----	------------------	----	------	----	-------	----	-------	------	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	---------------------

## 日本漁船保険組合 新体制の紹介

水産関係団体 平成28年度 事業の概要

表1 普通保険地区別加入実績及び支払実績

支所名	在籍漁船	加入漁船	保険金額	純保険料	事故件数	支払保険金	損害率	事故率
念珠関	167隻	149隻	839,890千円	14,302,854円	11件	3,518,653円	24.6%	7.4%
温海	55	53	186,450	3,097,083	8	1,858,566	60.0	15.1
豊浦	82	75	431,020	7,672,926	8	907,465	11.8	10.7
由良	72	70	383,600	7,563,696	16	7,775,699	102.8	22.9
加茂	66	48	152,710	3,169,346	3	161,792	5.1	6.3
さかた総合	114	102	941,940	19,916,678	23	11,175,743	56.1	22.5
吹浦	52	40	154,400	2,935,435	6	3,374,784	115.0	15.0
飛鳥	131	106	408,530	8,486,684	35	8,196,220	96.6	33.0
その他	5	3	1,273,000	3,729,900	0	0	0.0	0.0
合計	744	646	4,771,540	70,874,602	110	36,968,922	52.2%	17.0%
前年同期	758	667	4,806,710	73,590,208	110	30,899,640	42.0%	16.8%
前年同期比(%)	98.2%	96.9%	99.3%	96.3%	100.0%	119.6%	124.2%	101.4%

\* 在籍漁船には山形県漁業協同組合所有船「第5ちとせ丸」を含む

表2 漁船船主責任保険等加入実績と保険金支払状況

種類	本年度契約金額		支払保険金		種類	本年度契約金額		支払保険金		
	隻数	金額(千円)	件数	金額(円)		隻数	金額(千円)	件数	金額(円)	
漁船船主責任保険	基本損害	633	315,700,000	7	2,076,829	漁船乗組船主保険	460	385,000	1	500,000
	乗客損害	89	33,910,000	0	0	漁船積荷保険	3	225,000	0	0
	人命損害	73	220,500	0	0	プレジャーボート責任保険	124	15,840,000	3	81,214

### 人事異動 (一内は旧役職)

◆昇格 平成29年7月24日付  
齋藤 辰幸 支所長

〔統括課長〕

◆採用 平成29年6月1日付  
佐藤 悦代

佐藤 悦代

◆退職 平成29年7月23日付  
莊司 洋子 [支所長]

莊司 洋子 [支所長]

**漁船保険中央会会長表彰**

平成28年度 無事故漁船 所有者等表彰

水産庁長官表彰

念珠関総括支所	北洋丸
佐藤 勝則	
豊浦支所	大黒丸
本間 雅夫	
加茂出張所	妙見丸
佐藤 義明	
吹浦支所	第二勝栄丸
佐藤 勝廣	
飛鳥支所	第三曙丸
鈴木 光吉	

● 公共料金の口座振替は漁協で！



# 全国合同漁業共済組合 山形県事務所

本県の平成28年度の水揚高は36億25百万円となり、前年度対比で6億21百万円の増額となりました。11月以降の県内・県外船凍いか釣漁業の水揚げ増加が主な要因ですが反面、県内における漁船漁業全般においては総じて水揚高は減少傾向にあり、特に小型定置漁業、採貝藻漁業は水揚減少となりました。また、恒常的な問題となっている漁業者の高齢化、魚価安と燃油価格の高止まり状況、漁場の急激な変化なども相まって漁業経営を一段と厳しくしております。

このような漁業環境にあつて、本年が最終年度となる普及推進全国運動「しっかりと加入で安心経営」、これからも「ぎよさい」と「ぶらす」をスローガンに、併せて「資源管理・収入安定対策事業」を説明しながら未加入船を中心に推進運動を展開しました。

その結果、鶴岡市、酒田市の小型合併漁業5件の新規加入と、漁獲共済で10件の契約割合引き上げがありました。前年度同期比での漁獲共済の加入件数は243件と2件減少となりましたが、共済金額においては若干の増額を見ることが出来ました。

長期にわたる漁業環境、経営環境の悪化が「ぎよさい」と積立ぶらす」にその役割と期待が背景にあつたものと思われれます。

ここにあらためまして、漁業者各位のご理解とご協力に感謝を申し上げます。

## 平成29年度 漁業共済優績者表彰

☆水産庁長官賞《7年間無事故者》

剛雄丸 鈴木 剛太殿(温海)

☆漁済連会長賞《5年間無事故者》

第八双葉丸 本間 勤殿(飛鳥)

第五多喜丸 渡部 伸二殿(酒田)

あい丸 佐藤 義男殿(由良)

第21輝修丸 石塚 修殿(由良)

稲荷丸 本間 道記殿(豊浦)

日本丸 佐藤 豊雄殿(温海)

勲栄丸 加藤 守殿(温海)

海栄丸 本間鋼太郎殿(念珠関)

大進丸 栗田 義和殿(念珠関)

**ぎよさい加入で  
安心経営**



つなぐちゃん

## 全国合同漁業共済組合 山形県漁業共済事業運営委員

平成29年6月27日開催の第二回運営委員会において補欠選任が行われ、次のとおり新しく就任・選任されました。

〈運営委員任期〉〈補欠選任〉

平成29年6月27日

平成31年6月の通常総代会終了時まで

運営委員長 本間 昭志(就任)

〈所長兼務〉

運営委員 伊原 光臣(任期中)

運営委員 池田 亀五郎(任期中)

運営委員 佐藤 清八郎(任期中)

運営委員 斎藤 厚(任期中)

運営委員 和田 均(新任)

運営委員 飯塚 厚司(新任)

運営委員 田村 勇次(新任)

〈辞任〉

運営委員長 五十嵐 安哉

運営委員 佐藤 峯男

全国漁業共済組合連合会

監事 五十嵐 安哉

全国合同漁業共済組合

理事 五十嵐 安哉

● 年金のお受取りは漁協で！

# JF 共水連東北事業本部 山形支店

☆JF共済 平成28年度加入状況 (単位：件、万円)

共済種類	実績		保有		
	件数	共済金額	件数	共済金額	
長期共済	チョコー 新規 純新規	144	132,470	1,261	795,020
			104,070	—	—
	くらし	18	20,700	245	260,450
	年金 新規 増額	4	30	490	2,565
10		17			
短期	ノリコー	296	109,600	—	—
	カサイ	431	652,519	—	—

☆平成28年度共済金支払状況

普通厚生共済 (チョコー)		
満期・給付金	120 件	21,415 万円
死亡	7	2,622
入院・通院他	136	959
計	263	24,996

生活総合共済 (くらし)			漁業者老齢福祉共済 (ねんきん)		
満期	17 件	1,820 万円	年金	230 件	2,978 万円
事故	1	41	死亡	0	0
計	18	1,861	計	230	2,978

乗組員厚生共済 (ノリコー)			火災共済 (カサイ)		団体信用厚生共済 (ダンシン)	
事故	4 件	14 万円	3 件	99 万円	0 件	0 万円
計	4	14				


JF共済は平成二十八年度「浜の未来へ大きな架け橋 JF共済三か年計画(平成二十六年～平成二十八年)」の最終年度として、本県JF共済推進本部・JFやまがたと一体となって、①『安心』と『納得』のいく保障提供、②『万全な共済事業実施体制の確立』、③『元気で活力ある漁村・地域づくりのための支援』を基本方針として取り組んで参りました。

本県JF共済推進本部は、共済事業におけるコンプライアンス(法令遵守)と普及推進並びに、各種研修会・会議等の実施を通じて体制強化に努め、「提案型推進の促進」「恒常・集中推進への支援」「担当者研修・広報活動の強化」といった重要諸施策を積極的に行ないました。このほか東北六県合同によるキャンペーン「浜のパワーでがんばろう東北! JF共済キャンペーン!」を行なうなど、事業量目標の早期達成に向けたチョコーキャンペーンを展開致しました。

JF共済の基幹種目である生命共済「チョコー」は、純新規目標を達成することが出来ました。一方、建物共済「くらし」では前年度実績を上回ったものの、残念ながら目標達成には至りませんでした。

最後になりますが、厳しい漁業・事業環境のなか、共済加入等にご協力頂いた皆様に対し、深く感謝申し上げますと共に、組合員・地域住民の多様なニーズや信頼にお応え出来るよう、JFやまがたと一体となって「ふれあい型」推進に努めて参りますので、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**「JF共済3か年計画」  
運動スローガン  
(平成29～31年度)**



**「一人ひとりの笑顔のために  
・・・協同の原点」**

**浜に笑顔の見張り番**

**がんばろう漁村 浜の応援団**


**今こそ示そう「浜の底力」**

**推進本部長・運営委員について**

本年六月末日で任期満了となる運営委員について、平成二十九年六月二十七日の山形県漁業協同組合の理事会において、次の方々が選任、承認されましたのでご紹介させていただきます。

**山形県JF共済推進本部運営委員**

推進本部長	本間 昭志 (昇任)
運営委員	田村 勇次 (重任)
運営委員	伊原 光臣 (重任)
運営委員	池田 亀五郎 (重任)
運営委員	齋藤 厚 (重任)
運営委員	佐藤 清八郎 (重任)
運営委員	和田 均 (新任)
運営委員	飯塚 厚司 (新任)



●メインバンクはJFマリンバンクを!



# 山形県漁業信用基金協会

## (1) 会員と出資金

会員数は、前年度末より変動はなく、本年度末会員数は69名であります。

また、出資金についても前年度末より変動はなく、本年度末出資総額は667,300千円であります。

## (2) 保証業務

年間保証額は、33件134,740千円（うち漁協生活ローン16件20,940千円）となり、その結果、本年度末保証残高は154件501,986千円となりました。前年度末対比では、件数では2件、保証残高では13,552千円増加しております。

なお、資金種類別の保証状況は下表のとおりです。

## (3) 代位弁済と求償権

代位弁済事故防止に努めた結果、本年度は発生しませんでした。

一方、回収にあたっては、極めて厳しい情勢の中で積極的な回収努力と支払協力による回収で8,348千円（目途額7,220千円、達成率115%）の回収を図ることができました。その結果、本年度末求償権残高は、17名142件1,254,151千円となりました。

今後とも、債務者ならびに関係機関のご協力をいただきながら回収を図りたいと考えております。

## (4) 収支

収入については、金融市場を取り巻く環境は依然厳しい中、基金等の運用資金を有効活用し、運用益の確保に努めた結果、収益合計18,722千円となりました。

一方、支出については、費用合計13,734千円となり、これにより、本年度末当期利益金4,988千円計上する結果となり、本年度末をもって繰越欠損金は解消することとなりました。

今後も経営改善計画に沿って事業を展開し、経費削減を行い、関係機関と協議しながら、漁業金融の円滑化を促進するとともに、保証基盤の強化を図り、中小漁業者の経営の改善と安定化に寄与できるよう努めて参りたいと考えております。

## (5) 役員の変動

就任（平成29年7月1日）

理事長	木村 和浩（新任）	理事	桂 和彦（新任）
理事	宮治 仁志（新任）	理事	中里 智子（新任）
理事	門脇 茂（新任）	理事	伊原 光臣（重任）
理事	池田亀五郎（重任）	理事	和田 均（新任）
代表監事	渡邊 雅彦（重任）	監事	佐藤清八郎（重任）

退任（平成29年6月30日）

理事長	飛塚 弘	理事	大井 明彦
理事	山口 祐治	理事	秋葉 弘毅
理事	佐藤 峯男		

（金額単位：千円）

区分	前年度末保証残高		保証額		償還額		代弁額		本年度末保証残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
近代化資金	38	276,643	14	109,520	6	44,166	0	0	46	341,997
一般資金	金融公庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	借替緊急	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他一般資金	114	211,791	19	25,220	25	77,022	0	0	108
小計	114	211,791	19	25,220	25	77,022	0	0	108	159,989
計	152	488,434	33	134,740	31	121,188	0	0	154	501,986

## 油戸下草刈り

今年で9回目となる油戸「魚の森」森づくり活動が、7月1日開催されました。前日から風雨が予報され当日の天気心配されましたが、参加者の日頃の行いが影響してか、小雨交じりの中ではありますが開催することができました。

漁協女性部17名のほか地元油戸漁業者、由良・加茂磯見組合等が参加し、下草刈りを行いました。「ごご採ってやらねど大きぐならねなやのー」「これ新しい木だなんね、これは切ってダメだのー」などの声があり、こだわりを持ちつつも、時折談笑を交えながら作業をすることができました。

この活動を通じて、良好な漁場環境を支える豊かな森づくりとなることを祈念いたします。



● 公共料金の口座振替は漁協で！

# JF共済

生活総合共済

# くらし

## 7月1日より 制度改正



Point

# 1

## 風・ひょう・雪災による支払要件の拡充

これまでは…20万円以上の損害でお支払い



これからは… **3万円以上の損害でお支払い!**

例えば…雪災による雨樋の破損、強風による外壁等の破損、強風によるアンテナの倒壊、強風によるベランダ屋根の破損 など



Point

# 2

## 水害による支払共済金を拡充

安心の全額補償へ  
全損時の縮小割合(70%)を撤廃し、損害の額に応じたお支払い!

損害割合30%または、床上浸水した場合

これまでは…  
共済金額の70%



これからは…

**損害の額の100%(全額)をお支払いします!**

※付保割合が①住宅用建物で60%、②一般物件では80%以上の場合であること。  
※加入共済金額を上限として損害の額をお支払いします。



Point

# 3

## 地震による損害の支払共済金を拡充

### 全損時は30%、半損は新たに2項目に!

これまでは…全損で共済金額の25%

これまでは…半損で共済金額の10%

これからは…



**全損時の支払いを  
30%に引き上げ!**

これからは…



**大半損で共済金額の  
20%をお支払い**

**小半損で共済金額の  
10%をお支払い**

※一部損については今までどおり3%をお支払いします。



上記の補償内容は7月1日以降、ご加入された契約が対象となります。6月30日以前にご加入された契約につきましては、旧制度での補償内容となりますのでご注意ください。

上記の記載は、生活総合共済(くらし)の概要を説明したものです。詳しくは山形県漁業協同組合本所・各支所もしくは、JF共水連東北事業本部山形支店(Tel: 0234-22-0021)へお尋ね下さい。

ご契約の際は「重要事項説明書」及び、「ご契約のしおり」を必ずお読み下さい。

● 年金のお受取りは漁協で!



# 水揚情報

平成29年6月30日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
5月末迄水揚累計		323,223	15,328	10,636	83,646	28,115	57,209	39,436	8,984	79,869
月間水揚	県内船水揚	155,133	9,542	10,815	26,995	15,104	25,609	16,823	6,344	43,901
	県外船水揚	55,410	0	0	47,919	0	0	0	0	7,491
	合計	<b>210,543</b>	<b>9,542</b>	<b>10,815</b>	<b>74,914</b>	<b>15,104</b>	<b>25,609</b>	<b>16,823</b>	<b>6,344</b>	<b>51,392</b>
前年同月水揚		262,398	13,219	13,856	119,468	12,805	30,772	21,679	4,951	45,648
本年度水揚	県内船水揚	456,066	24,870	21,451	92,079	43,219	81,637	56,259	15,328	121,223
	県外船水揚	77,700	0	0	66,481	0	1,181	0	0	10,038
	合計	<b>533,766</b>	<b>24,870</b>	<b>21,451</b>	<b>158,560</b>	<b>43,219</b>	<b>82,818</b>	<b>56,259</b>	<b>15,328</b>	<b>131,261</b>
前年度水揚累計		606,882	28,962	25,813	213,077	40,968	89,796	59,062	22,183	127,021
増	減	-73,116	-4,092	-4,362	-54,517	2,251	-6,978	-2,803	-6,855	4,240

## 今あがっている魚 - 6月のベストテン - 前年対比 増↗減↘変らず→

水揚金額(千円)				漁獲量(kg)								
1	するめいか	62,724		↘	1	するめいか	156,069		↘			
2	べにずわい	22,737		↗	2	た	い		56,280	↗		
3	た	い		↗	3	ほっこくあかえび	34,375		↘			
4	ぶり・いなだ	7,879		↗	4	べにずわい	21,024		↗			
5	あ	じ		↘	5	口	細		15,358	↘		
6	た	ら		↗	6	も	ず		く	11,778	↘	
7	ほっこくあかえび	4,131		↘	7	ひ	ら		め	9,812	↘	
8	さ	ざ		え	↗	8	あ		わ	び	9,515	↘
9	ひ	ら		め	↘	9	さ		ざ	え	7,521	↗
10	あ	ん		こ	う	↗	10		ぶり・いなだ	7,059	↗	

月間MVP

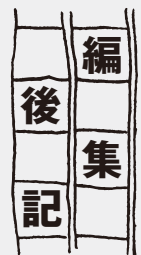
月間MVP

○私事になりますが、この4月から6年振り酒田に戻ってきました。くしくも前組合長が組合長に就任された平成20年は前回酒田に異動して1年目の年でした。あれからもう9年も経ったんだなと思うと感慨深いものがあります。

再び庄内に来て、改めて思うことは、魚はもろろんのこと、野菜や加工品など食べ物が大変おいしいこと。それに何と云っても6年前に比べラーメン屋さんが増え、お店のレベルが高くなっている。ラーメン好きの私にはパラダイス！最近ちょっと食べすぎて、先日の健康診断で高血圧と言われ渡されました。庄内浜の魚をたくさん食べて血液サラサラ健康にならねばと思う今日この頃。

○そして、五十嵐安哉前組合長におかれましては、9年間という長きにわたり、本県水産業の振興に御尽力なされたことに敬意を表します。とりわけ、昨年度は第36回全国豊かな海づくり大会を成功裡に終えることができたのは、組合長はじめ関係者の皆様の御尽力によるところが大きかったものと改めて感謝申し上げます。

○去る6月27日、第52回通常総代会が開催され、任期満了に伴う役員改選が行われ、本間昭志理事が新組合長に就任されました。今後の活躍に御期待申し上げます。



庄内総合支庁水産振興課  
課長補佐 佐藤 年彦

●メインバンクはJFマリンバンクを！

# 土門 良一氏、土門 拓也氏 海難救助に対する感謝状授与式

5月1日午後5時30分頃、吹浦漁港沖合で小型漁船が転覆し、男性1名が船につかまっているとの118番通報がありました。酒田海上保安部から出動要請を受けた山形県水難救済会吹浦・西遊佐救難所は直ちに出勤命令を出しました。西遊佐救難所所属の土門良一氏（副所長）と土門拓也氏（救助員）がいち早く現場に到着。午後5時50分頃、遭難現場付近で遭難者を発見しました。救命浮環を投げ入れたものの、体力の低下により遭難者はつかまることができなかつたため、遭難者に接近して、二人で船内に引き揚げ無事救助することができました。



前列中央が土門良一氏、右が土門拓也氏

この功績に対し、5月31日に酒田海上保安部長より感謝状が贈られました。

昨年度は海難事故の多い年でしたが、今年度に入ってからも事故が続いております。海難に遭わないために漁業に携わる方はもちろん、レジャーを楽しむ方々もライフジャケットの着用や情報伝達手段の確保、気象情報の入手等事前の準備を怠らないようにしましょう。



6月3日 酒田港の初夏の風物詩、恒例行事になりました中型いか釣船団の出港式が執り行われました。

11年目にして初めて荒天開催となりましたが、既に「船凍モード」に入った漁撈長はじめ、乗組員の緊張した顔がこれから迎える厳しい漁期を我々に伝えてくれます。

佐藤船団長の挨拶が終わり、酒田舞子の優美な舞が始まると皆の緊張した顔が緩んだひとときもありました。

現在船団は、北海道武蔵堆海域で操業しています。この号が発行される頃は第1回目の荷揚げ入港があります。大漁をお祈りいたします。



恒例！

中型いか釣  
山形船団  
出港式

広報誌

すいさん山形

335 / 平成29年7月号

編集・発行 / 山形県漁業協同組合 酒田市船場町二丁目2番1号  
代表理事組合長 本間昭志

☎ 0234-24-5611 FAX 0234-22-6455  
http://www.kengyokyo.or.jp/